



第10回 日本認知症予防学会学術集会

The 10th Annual Meeting of Japan Society for Dementia Prevention

会期 2021年6月24日(木)～26日(土)

会場 パシフィコ横浜 ノース / WEB

大会長 浦上 克哉 (鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座 環境保健学分野 教授)

[ランチョンセミナー 1]

コロナ禍に期待される 認知症評価ツール

— MSP、TDASのニューバージョン —

座長

松田 晋哉 先生

産業医科大学医学部 公衆衛生学

演者

浦上 克哉 先生

鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座
環境保健学分野

日程

6月24日(木) 12:00～12:50 (50分)

会場

パシフィコ横浜 ノース
第1会場 (1F G2) 300席

※現地+LIVE配信を行います。

- ・本セミナーは、事前参加申込制となります。(現地参加される場合のみ)
 - ・WEB 参加される場合は、学術集会の事前参加登録のみでご視聴が可能です。
- ※詳細は学術集会HPよりご確認ください。 <http://jsdp2020.umin.jp/>



Abstract

コロナ禍の自粛生活の中で高齢者の認知機能低下が報告されている。認知症患者数は2025年に700万人になると推計されているが、このような状況が長引けば700万人を大幅に上回る患者数になることが懸念される。コロナ禍において種々の疾患で医療機関の受診控えが起こっているが、認知症も例外ではない。受診の遅れにより、早期診断・早期治療が困難となる。

医療機関ではコロナの感染予防のために、検査が制約を受けている。対面式の神経心理検査は感染予防対策をとり短時間で換気の良い部屋で行うよう指針が出されているが、換気の良い部屋の確保が難しい場合も少なくない。

そのような状況では、対面式で検査を行わなくてよいタッチパネル式コンピューターを用いた「物忘れ相談プログラム」や「TDASプログラム」は有用性が高い。「物

忘れ相談プログラム」は短時間(3分以内)で負担が少なく、且つ感度、特異度が高い極めて精度の良い機器であり早期診断に有用である。TDAS (Touch-panel type dementia assessment scale) プログラムは、適切な治療や介入評価のために有用なツールである。TDASは治療評価スケールとして世界的に一致した見解の得られている Alzheimer's disease assessment scale (ADAS) をタッチパネル式コンピューターで施行できるようにしたもので専門職が得られない環境でも施行でき、通常60分くらいかかるところを20分くらいで可能にしたものである。

今回、これらの検査ツールのニューバージョンができたので本セミナーで紹介したい。コロナ禍の認知症の早期スクリーニングと治療評価に活用頂ければ幸いである。